

石狩東部広域水道企業団

Table with 2 columns: 銘柄コード, 法人番号. Values: -, 9000020019615

Table with 3 columns: 日本標準産業分類, コード, 項目名. Rows: 中分類 (36, 水道業), 細分類 (3611, 上水道業), エネルギー管理統括者 (【役職】 事務局長, 【氏名】 佐々木 聡)

*は選択開示項目

Table with 5 columns: 項目, 値, 単位, 値, 単位. Rows: エネルギー総使用量 (68,672 (77,038) GJ, 1,772 (1,988) kℓ), 前年度エネルギー総使用量 (1,961 kℓ), 非化石エネルギー総使用量* (16,974 GJ, 438 kℓ), 調整後温室効果ガス排出量 (4,310 t-CO2)

【エネルギーの使用の合理化】

Table with 5 columns: 項目, 2019年度, 2020年度, 2021年度, 2022年度, 2023年度. Rows: 主たる事業におけるエネルギー消費原単位 (100.0 (100.0) %), 事業者全体のエネルギー消費原単位対前年度比 (100.2, 102.0, 99.5, 101.2), 事業者全体の5年度間平均原単位変化 (%) (100.7)

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基き各事業者が決定したものを、

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量の量】

Table with 2 columns: 種別*, 合計量*. Rows: -, -, t-CO2

【電気の需要の最適化】

Table with 5 columns: 項目, 2019年度, 2020年度, 2021年度, 2022年度, 2023年度. Rows: DR実施日数* (0), 事業者全体の電気需要最適化評価原単位対前年度比* (99.8, 102.4, 99.4, 101.2), 事業者全体の5年度間平均原単位変化* (100.7)

【非化石エネルギーへの転換】

Table with 5 columns: 項目, 2019年度, 2020年度, 2021年度, 2022年度, 2023年度. Rows: 電気の非化石比率 (28.7%), 直近5年度間の実績値 (25.2%), 目安設定業種 (-), 目安 (2030年度) (-), 目標 (2030年度) (-), 直近5年度間の実績値 (-)

【ベンチマーク指標の状況 (合理化)】

Table with 3 columns: 項目, 値, 値. Rows: ベンチマーク区分 (-, -), 目指すべき水準 (-, -), ベンチマーク指標の状況 (-, -)

【取組の概要：業界の事情等を考慮した取組について (定性的事項)】

(自由記述欄)

1. エネルギーの使用の合理化に関する事項

Large empty box for text input regarding energy efficiency measures.

2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項

Large empty box for text input regarding non-fossil energy transition measures.

必読：本開示シートを閲覧するにあたっては「省エネ法定期報告情報の開示制度手引き」を参照をお願いします

【参考情報】

<業界の特色>

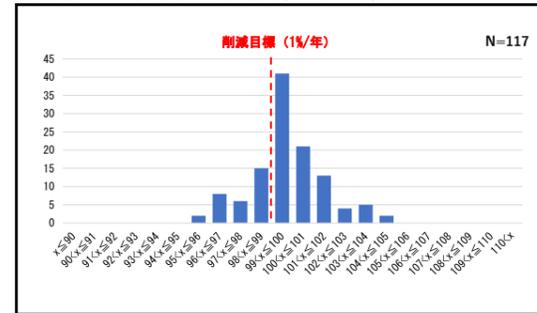
水道業は、一般の需要に応じ水道管及びその他の設備をもって給水を行う事業並びに公共下水道、流域下水道又は都市下水路により汚水・雨水の排除又は処理を行う事業です。水道業は2022年度において国内の第3次産業の3.8%のCO2を排出しています。独立採算制の下、浄水や送配水過程などで多くのエネルギーを要するため、これまで財政への影響や社会的要請を考慮して、省エネや再生可能エネルギーの活用に取り組んできました。脱炭素化に寄与する主な取組として、常用発電設備の高効率化、省エネ型ポンプ設備の導入、高効率機器への更新、再生可能エネルギーの導入拡大、森林クレジットの活用等があります。貴重かつ限りある資源である水を扱い、公益性が極めて高い事業を担う水道界の役割として、これまで以上の脱炭素化に向けた取組を推進していく必要があります。

<定期報告書データに基づく業界毎の集計値>

注：エネルギー使用量のシェアが全体の0.5%以上で、事業者数が10件以上の業種別分類について集計

Table with 4 columns: 項目, 単位, 2024年度報告 (2023年度実績) 平均値, 中央値, 最大値. Rows: エネルギー総使用量 (9,488, 3,251, 182,540), 非化石エネルギー総使用量 (2,510, 894, 48,162), 調整後温室効果ガス排出量 (37,768, 6,818, 2,008,178), DR実施日数 (8.4, 0.0, 365)

<5年度間平均原単位変化 2024年度報告 (2023年度実績)>



【取組の概要：カーボンニュートラルに向けて】

(自由記述欄)

1. 自由記述欄 (カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)

当企業団の事務・事業により発生する温室効果ガスの排出量削減に向け、より具体的に取組むことを目的に「石狩東部広域水道企業団地球温暖化対策実行計画」(以下「計画」という。)を策定しています。当企業団では、この計画をより効果的にするため、『地球温暖化対策実行計画(事務事業編)ワーキンググループ』を毎年設立しています。このワーキンググループでは、計画で定めた項目における取組状況等の確認、必要と考えられる改善策等の提案、各取組についての評価を行い、温室効果ガスの削減に取組んでいます。

2. 関連リンク

Table with 2 columns: 項目, 値. Rows: -, -, -